

A 型肝炎

A 型肝炎の患者報告数が 2018 年に入り全国的に増加しています¹⁾。

埼玉県でも 2018 年の患者報告数は第 35 週までの累計で 37 人であり、この数は過去 2 年の年間総報告数(2016 年: 6 人、2017 年: 12 人)を既に大きく上回っています²⁾。県内の医療機関から埼玉県衛生研究所に検体が搬入された A 型肝炎患者の検査症例数も、2018 年は過去 2 年を上回り、8 月 27 日時点で 14 症例となっています。

A 型肝炎を引き起こす A 型肝炎ウイルス(HAV)は、複数の遺伝子型(A、A、A、B、B、B)に分類されます。2018 年に HAV が検出された 14 症例のうち 13 症例が A、1 症例が B でした。13 症例の A は、遺伝子型決定に使用した遺伝子領域(569 塩基)の配列は、100% 一致しました(図中)。しかし、同じ A でも 2017 年までに検出された HAV(図中)とは、塩基配列に数%の違いがあり、系統樹上の異なる位置に配置されました。

全国の検出状況については、国立感染症研究所のホームページ等を参照して下さい³⁾。

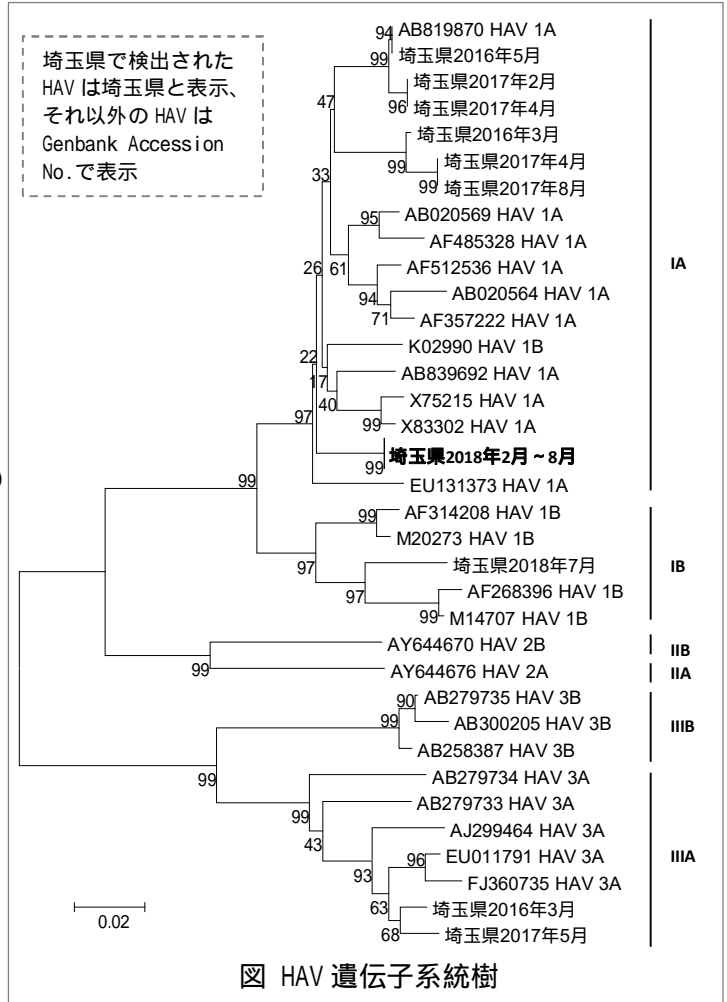


表 A型肝炎のウイルス検査状況(2016年1月 - 2018年8月27日)

		計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	遺伝子型
2016年	症例数	4			2		1			1					A:2、 A:1
	HAV検出数	3			2		1								A:2、 A:1
2017年	症例数	5		1		2	1			1					A:4、 A:1
	HAV検出数	5		1		2	1			1					A:4、 A:1
2018年	症例数	14		1		1	2	5	4	1					A:13、 B:1
	HAV検出数	14		1		1	2	5	4	1					A:13、 B:1

A 型肝炎は四類感染症の全数把握対象疾患です。医療機関の先生方には、引きつづき検体採取のご協力をお願いいたします。

1) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/data.html>

2) <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv.html##kanngennjouhou>

3) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/allarticles/surveillance/510-iasr/graphs/2293-iasrgv4.html>